

FD ワークショップのグループ議論の概要

2022 年度ゼミ代表者書記作成
2022 年 3 月

議論内容：「授業における課題とその課題に対する改善提案について」

<グループ1>

〔課題〕

1. 授業の中で得た知識を実務や現実の具体例に適用することを苦手とする学生が多い。
2. ブレイクアウトルームセッションで話し合いを円滑に進めることが難しい。

〔改善提案〕

1. 講義における例題や小テストの出題方法・内容を工夫することで学生の発想力を鍛える。
2. ブレイクアウトルームセッションに入る前に、教員側がそのルームごとのリーダーを事前に manaba 等を通じて指定しておき、その学生は円滑に話し合いを進められるような事前学習をしておくことで、グループワークの活性化及び、予習による知識の定着を図る（比較的少人数の授業の場合）。

ex:誕生日が1番早い受講生が司会となる等。

<グループ2>

〔課題〕

1. 学生が参加しやすい授業の雰囲気になる転換点はどこにあるか。
2. 匿名でのグループワークの時に、話を切り出しにくい。

〔改善提案〕

1. 匿名発表や匿名のコメントにすることで、いい意味で責任感が減るため発言しやすくなる。
2. グループの人数が多ければ多いほど発言がしにくくなるため、出来るだけ人数の少ないグループを作成する。

<グループ3>

〔課題〕

1. オンデマンド形式において動画の再生回数とレポートの提出数に差がある。
2. ブレイクアウトルームセッションで何も議論に参加しない学生がおり、議論が自分の意見を言うだけになってしまったり、グループ全体の雰囲気が悪くなったりする。

〔改善提案〕

1. 授業を受ける側の自主性や意欲に依る部分があり、対応策は更なる議論が必要。
2. 初年次セミナーなどでどのように議論を進めれば良いのかなどを教えることができれば議論が活発になる。

<グループ4>

〔課題〕

1. オンライン型の授業だと集中力が切れやすい。
2. ブレイクアウトルームセッションの時に話を切り出しにくく、全く話さずに終わることがある。
3. 対面と遠隔の受講の両立が難しい。

〔改善提案〕

1. 講義資料に画像や動画など学生の興味を惹くようなコンテンツを増やし、また、授業以外の内容に関する話を少し交えながら授業を進行することで、学生の授業への集中力を維持させる。
2. ブレイクアウトルームセッションに移る前に教員側からリーダー（司会）をしてもらい、各ルームに移ることで話し合いを始めやすくする（誕生日が早い人が司会など）。
3. 授業形態を対面が遠隔のどちらかに絞る。

以上